



【発信日】令和5年8月29日

【問い合わせ先】

大野市役所（1階 10番窓口）

くらし環境部環境・水循環課 田中、北村

電話 0779-64-4828 内線 1602

FAX 0779-66-1118

大野のシンボルを再エネ電力で照らします

～卒FIT電力を活用した再エネの地産地消スタート～

本市では、本年3月に策定した大野市脱炭素ビジョンに示す2050年のカーボンニュートラル達成と地域課題解決の同時実現を目指し、脱炭素の取り組みを進めています。

本ビジョンでは、市内で発電された再エネ電力を市内で有効に活用する、いわゆる「再エネの地産地消」の推進をプロジェクトの一つに掲げています。

そこで、本年5月に締結した「脱炭素社会実現に向けた連携協定」の一環として、本市と北陸電力株式会社とで、再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づく買取期間満了後の電力、いわゆる卒FIT電力を市民及び事業者から募集し、集まった当該再エネ電力を本市公共施設で活用する「再生可能エネルギーの地産地消」を進めているところです。

つきましては、下記のとおり市内卒FIT電力の活用を開始しますので、周知をお願いします。

記

- 1. 事業概要** 北陸電力が、市民及び事業者から募集した市内卒FIT電力を活用した再エネ電力を、市が購入し、市公共施設で利用する。
※詳細は、別紙「市内卒FIT電力の公共施設での利用について」参照
- 2. 事業目的**
 - ・市内再エネの地産地消推進
 - ・市公共施設のCO₂排出量削減
 - ・環境価値を活用した観光コンテンツの魅力向上、脱炭素普及啓発、環境教育推進
 - ・参加市民の郷土愛醸成
- 3. 活用開始日** 令和5年9月1日（金）
- 4. 活用施設** 越前大野城、六呂師高原トロン温浴施設うらら館、本願清水イトヨの里
 - ・越前大野城において、卒FIT電力を優先して利用することで、**越前大野城の脱炭素化を実現**。
 - ・余剰分は、うらら館またはイトヨの里で調整して利用。
- 5. 応募件数** 家庭用卒FIT電源 48件 合計227kW（令和5年8月18日時点）
- 6. 利用電力量** 約10万kWh/年 ※卒FIT電力の利用見込み量

市内卒FIT電力の公共施設での利用について（概要）



背景

- 大野市脱炭素ビジョンの策定（R5. 3）
「再エネの地産地消」が課題
- 大野市・北陸電力・北陸電力送配電との「脱炭素社会実現に向けた連携協定」締結（R5. 5）



目的

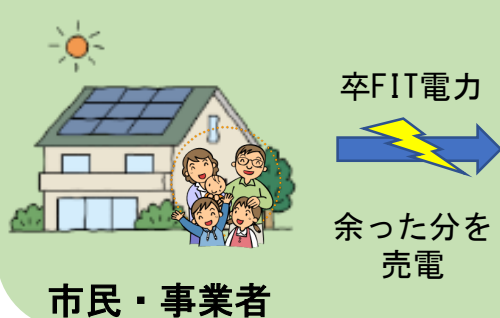
- 脱炭素ビジョンに掲げる「再エネの地産地消」の推進
- 公共施設のCO2排出量削減（脱炭素化）
- 観光コンテンツのさらなる魅力向上
（越前大野城・うらら館（六呂師高原・星空））
- 脱炭素普及啓発と環境教育推進（うらら館（六呂師高原）やイトヨの里での学習）
- 郷土愛醸成（市民が創ったエネルギーが公共施設を支える）

概要

利用開始日：R5. 9. 1～ 応募数：48件 合計容量：227kW 利用電力量：約10万kWh/年（※R5. 8. 18時点）

- 北陸電力が、市公共施設での利用に同意する市内卒FIT電力（※1）を、市民や市内事業者から募集（R5. 7. 7～）
- 北陸電力は、応募のあった卒FIT電力の余剰分を活用した再エネ電力を大野市の公共施設（越前大野城・六呂師高原トロン温浴施設 うらら館、本願清水イトヨの里）へ供給。
- 越前大野城で優先して利用することで、越前大野城の脱炭素化を実現。余剰分をうらら館またはイトヨの里で調整して利用。（うらら館およびイトヨの里において、不足分（使用電力量－卒FIT電力量）は、卒FIT以外の電力を使用）
- 卒FIT電力の募集を継続し、うらら館およびイトヨの里においても、卒FIT電力による「脱炭素化」達成を目指す。

《再エネの地産》



再エネ電力
環境価値を付加して供給

《再エネの地消＋地域課題の同時解決》



越前大野城
天空の城をCO2フリーのライトアップで、魅力もアップ。



うらら館
南六呂師エリアの星空保護の取り組みを環境面から下支え。



イトヨの里
大野市の水環境のシンボル「イトヨ」を「地球にやさ

しい電力」で守ります。学習でも活用し、人材を育成。

大野市（公共施設の脱炭素化）

※1 固定価格買取制度（FIT）の期間が満了した発電設備による電力